弥富市橋梁長寿命化修繕計画

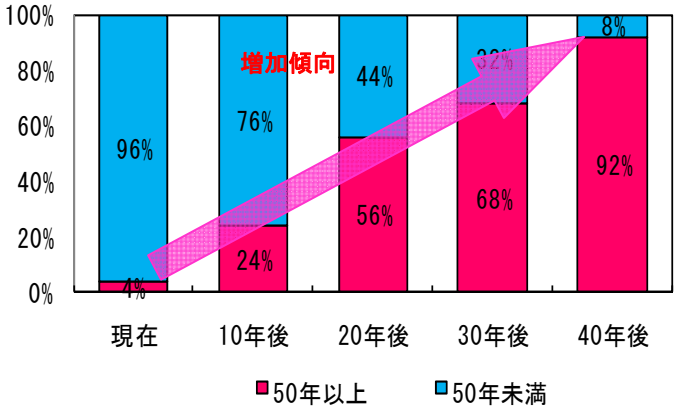
平成 23 年 10 月

弥富市 開発部 土木課

1　長寿命化修繕計画の目的

(1)　背景

弥富市の橋梁は、高度経済成長期以降において整備されており、今後、高齢化橋梁が急速に増大します。こうした背景から、今までのような事後的な修繕および架替えではコスト増大が見込まれる為、早期に対策を講じる必要があります。



(2)　目的

こうした高齢化した橋梁の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な対応への転換を図り、橋梁の長寿命化によるコストの縮減を図ります。

2　長寿命化修繕計画の対象橋梁

(1)　計画対象の橋梁数

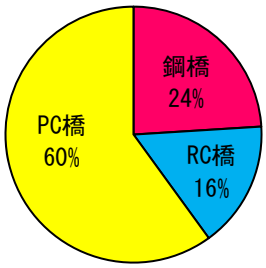
弥富市が管理する橋梁のうち長寿命化修繕計画は、重要な橋梁から優先的に 15m以上の橋梁を基本とし、市民のくらしや交通状況などを鑑みて選定し計画策定しました。

全管理橋梁数（橋長 2m 以上）	593 橋
うち計画対象橋梁数（橋長 15m 以上）	25 橋

(2)　橋梁の構成

計画策定橋梁（25 橋）の橋種別橋梁割合は以下のとおりであり、60%を PC 橋が占め、残りを鋼橋と RC 橋でほぼ二分しています。

橋種	橋梁数	総橋長
鋼橋	6 橋	322.7 m
RC 橋	4 橋	70.3 m
PC 橋	15 橋	347.0 m
計	25 橋	740.0 m



橋種別の橋梁割合

３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1)　健全度の把握に関する基本的方針

健全度の把握については、愛知県の「橋梁定期点検要領（案）」に基づいて、おおむね５年に１回実施し、橋梁の損傷を早期に把握します。

長寿命化修繕計画において判定している対策区分

区分	内　　容
A	補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う。
C	次回の定期点検までに補修を行う必要がある。
E	まず緊急対応が必要で、その後必要に応じて詳細調査を行い、損傷原因等を明らかにした上で補修を検討する。

(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針

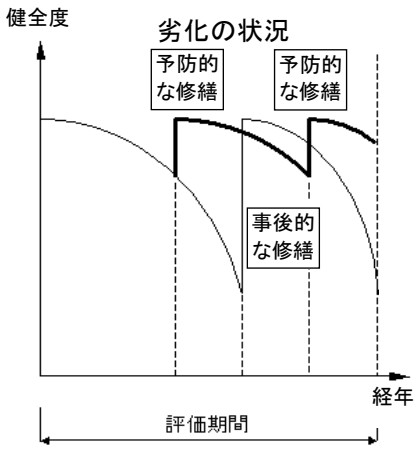
橋梁を良好な状態に保つため、日常的な点検として道路パトロールを実施します。

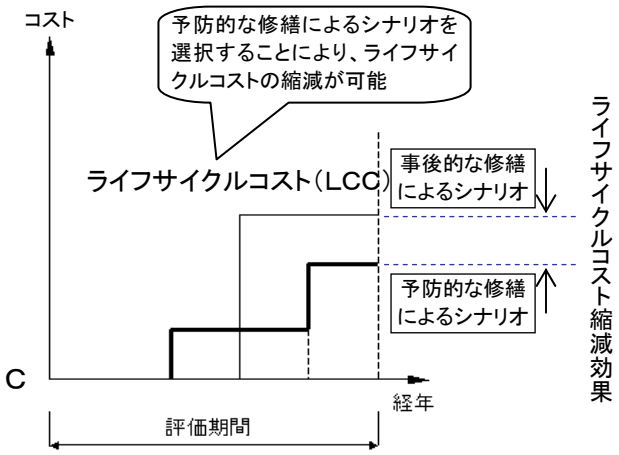
専門業者による点検状況

職員による目視点検状況

４　対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

従来型の事後的な修繕から予防的な修繕等の実施をすることにより、修繕・架替えに係る事業の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）の縮減を図ります。





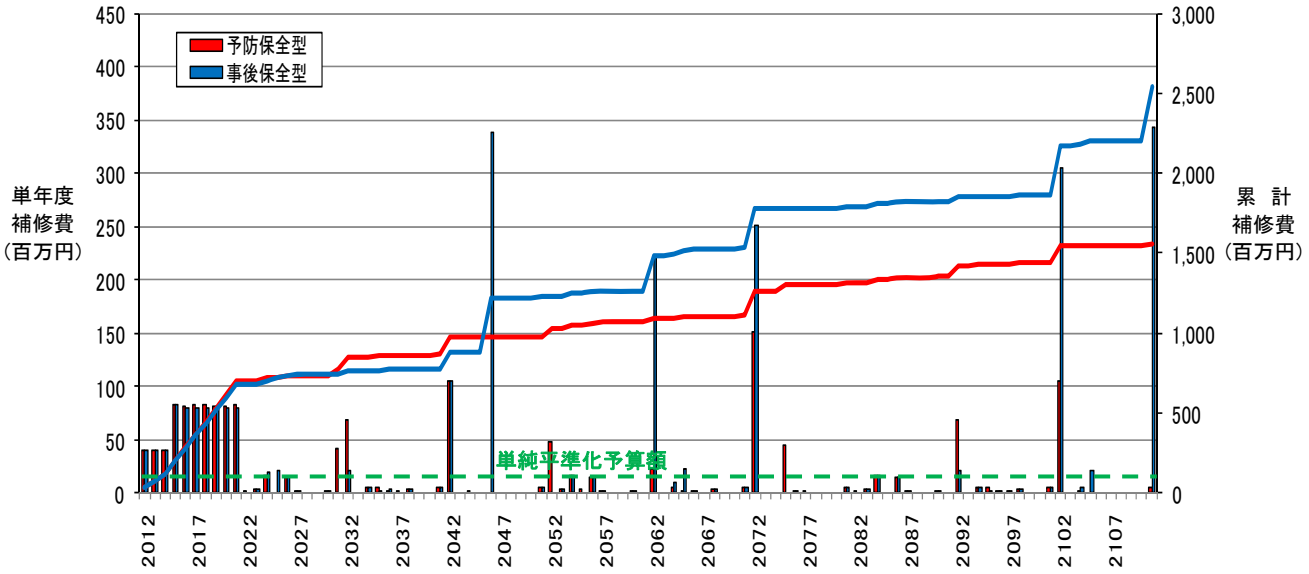
５　対象橋梁の点検結果

対策区分	A	B	C	E	合計
平成 22 年度計画策定橋梁数 （平成 21 年度点検橋梁）	７	１３	５	０	２５

※対策区分については、３．(1)　健全度の把握に関する基本的方針より

６　長寿命化修繕計画による効果

平成 21 年度に点検した橋梁 25 橋を対象とした場合、今後 100 年間の維持費は事後保全タイプの約 25.4 億円から、予防保全タイプの約 15.4 億円となり、約 10.0 億円（約 39.4%）の縮減が見込まれます。



長寿命化修繕計画による効果

７　計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

１）計画策定担当部署

弥富市　開発部　土木課　TEL 0567-65-1111

２）意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

愛知県社会資本長寿命化修繕計画策定委員会
委員長　名古屋大学大学院環境学研究科　　山田健太郎 教授